



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 中村橋教室

TEL. 5971-3615

学年末の月となりました。みなさんにとって、どんな1年でしたか。来年度も目標に向かって、いろいろなことができるようになるといいですね。春休みのうちに復習をしっかりと、次の学年につなげていきましょう。

(写真 kasayon/PIXTA)



だれでも分かる

教育情報
&
ニュース



▲トキ

(写真 shirou-miz/PIXTA)

3月8日は「ミモザの日」・「国際女性の日」

3月8日は「ミモザの日」と呼ばれ、この日にイタリアでは男性が女性に感謝の気持ちを込めて黄色いミモザの花を贈る習慣があります。そして、この日は「国際女性の日」でもあります。これは、女性の地位向上や差別撤廃などを目指して行動する日です。国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱され、その後1977年の国連総会で議決されました。

日本は、ジェンダーギャップ(男女の格差)が根強く残っているとされています。世界経済フォーラム(WEF)が2024年に発表した「ジェンダーギャップ指数」によると、日本の順位は146か国中118位でした。これは先進国の中では最低レベルの結果で、経済や政治の世界での女性の参加の低さが原因とされています。国連が打ち出したSDGs(持続可能な開発目標)では、「ジェンダー平等を実現しよう」が5番目の目標に示されています。この日、ちょっとジェンダー平等について考えてみませんか?

トキの放鳥 来年能登地方で計画

環境省は来年、新潟県佐渡島で保護・繁殖をしている国の天然記念物トキを石川県能登地方で放鳥する方針を発表しました。本州でのトキの放鳥は初となります。計画では、来年6~7月に、佐渡トキ保護センターで訓練を受けたトキを15~20羽程度を放鳥するという事です。

トキは、江戸時代には日本のほぼ全域で生息していましたが、乱獲やえさとなる生き物の減少で数が激減し、1952年に国の特別天然記念物に指定されました。2003年に日本生まれのトキが絶滅した後、中国から贈られたトキを人工繁殖させて、佐渡市で繁殖と野生復帰のための放鳥が進められてきました。現在佐渡市で生息するトキの数は約570羽以上とされています。トキの生息には餌場となる広い水田や森林が必要なため、環境整備が課題となっています。

完璧なゆで卵の作り方 開発される

イタリアの研究チームによる、黄身と白身の仕上がりが完璧な「ゆで卵調理法」が話題になっています。研究チームが開発したのは、100℃の熱湯が入った鍋と、30℃の水のボウルを用意し、卵を2分ごとに熱湯→水→熱湯…と移し替え、8往復計32分かけて作る方法です。この調理法だと、食感がしっとりとなめらかで、栄養成分も高くなるそうです。一般的なゆで卵の作り方は、固ゆで卵の場合、お湯から10~13分ゆでるのが目安と言われているので、倍以上の時間がかかります。

また、農林水産省のSNSでは、少ない水で4分蒸すだけでゆで卵を作る方法を紹介しています。皆さんはどの方法でゆで卵を作りたいですか?



よいスタートを
切ろう！

中学生の勉強はこうしよう！

皆さん、新学年への進級おめでとうございます。現在中1の皆さんはさまざまな面で中心的な存在になり、中2のみなさんは高校受験・進学を迎える学年になります。新しい学年でよいスタートを切れるように、今から勉強習慣を見直しませんか？「もうできている」という人も、ぜひ再確認してみてください。

(イラスト Gugu/PIXTA)

勉強への取り組み方を見直そう

新中1生の皆さんは、どんな中学校生活を送りたいですか？「よい友達を作る」「部活動を頑張る」など、思い描く姿は人それぞれだと思いますが、充実した中学校生活を送るためには、やはり勉強はとても大切です。

中学校では、小学校に比べて学習内容が増えて、難易度も上がります。また日々の勉強のほかに、テスト対策も必要です。中学校の定期テストは小学校のような単元ごとのテストと違い、2～3か月ごとに1回行われ、その分1回のテスト範囲が広く難しいです。テストの前日に教科書を見直す程度ではふつうよい点は取れません。ですから、中学校での勉強の仕方それぞれに合ったものにしていかなければならないのです。中学生の間にしっかりとした勉強の取り組み方を身に付けることは、この先高校以降でも勉強で苦労しなくなるので頑張りましょう。

中学校の勉強は「予習→授業→復習」が基本

中学校での勉強は、予習と復習は必須です。勉強の内容も難しく、覚えることも多くなるので、授業内だけで完全に理解したり覚えたりするのは特別な能力がない限りふつうは無理です。ふだんの勉強は「予習→授業→復習」のセットで、毎日進めて習慣化しましょう。大切なことは、何に重点を置いて時間や力をかけるかです。

- ① **予習**：授業でやる内容をざっくりと理解し、要点をつかむ。時間をかけすぎないのがポイント。10分くらいで教科書をざっと読む程度で済ませる。「わからないところ」があっても、それは授業で解決すればOK!
- ② **授業**：予習した内容を頭に入れながら、先生の話を聞いて理解を深める。「わからないところをなくす」のが大事なので、授業には積極的に参加し、わからなかったことは先生に質問しよう。
- ③ **復習**：予習と授業で理解した内容を確認し、「わかる・覚えている」状態をキープ。「問題を解けるか」をチェックするのが大事。また、「授業当日」「週末」「テスト前」と段階を踏んで復習すると、ぐんと学力が定着する。「授業当日」の復習はノートや教科書を読んで授業を振り返って、「週末」には問題集などを使って、「実際に問題が解けるか」「知識が定着しているか」を確かめよう。



家での勉強時間はどのくらいすればよい？

家での予習・復習は、やみくもに時間をかければよいというものではありません。メリハリをつけて、決めた時間内で集中して勉強しましょう。予習は上でも説明したように10分程度で、復習には30分から1時間程度でよいでしょう。そして、比較的時間の余裕のある週末に2～3時間しっかり復習するのが理想です。新中3生は、授業の復習と受験勉強のことを考えてプラス1時間くらい多く時間を取りましょう。

「忙しくて、時間が取れない」と思っている人は、ちょっと自分の時間の過ごし方を思い出してください。なんとなくスマホを見るなどして、ダラダラと過ごしていませんか？ そんな時間を勉強にあてることができるかもしれません。やりたいことをするためにも、時間を大切に使う意識を持ちましょう。

